

政策評価調書(3年度実績)

政策名	挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	Ⅱ-1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------	-------	-----	-------	-------

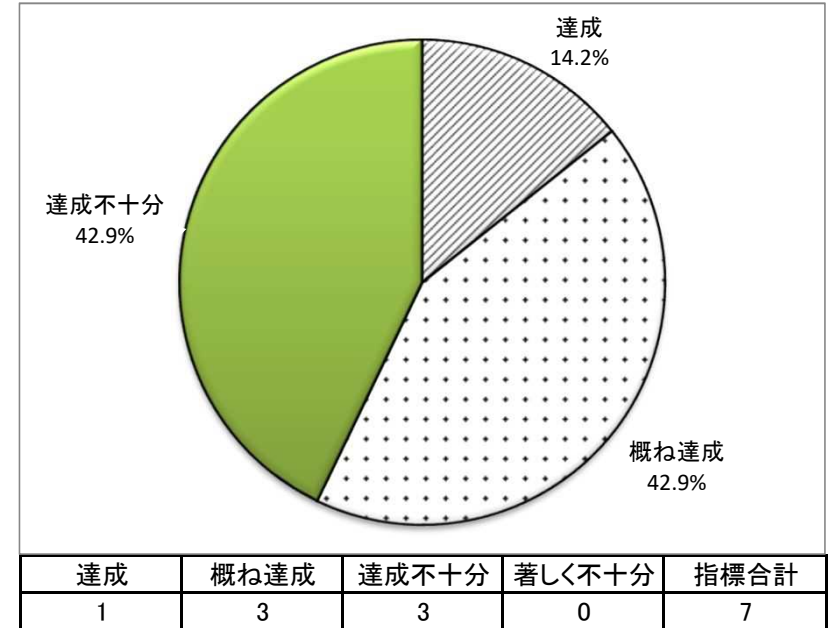
【Ⅰ. 政策の概要】

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させる。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	達成不十分	B
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	達成不十分	B
3	産地を牽引する担い手の確保・育成	達成	A
4	元気で豊かな農山漁村づくり	概ね達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

県では、これまで、マーケットインの商品づくりに取り組み、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、「うまみだけ」、「かぼすぶり」などのブランド産品を育成・推進してきた。また、オンラインを活用した就業相談会の開催や、就農後のサポート体制整備などの就業支援制度を充実させた結果、R3年度の新規就業者数はH16年度の調査開始以来、最多の469人となった。

また、R2年の農業産出額は、県域で拡大を図る園芸品目の生産量増加により、1,208億円(対前年+13億円、+1.1%)と4年ぶりの増加となった。他方で、コロナ禍の影響で木材需要や外食需要の減等により、林業産出額、水産業産出額が減少し、農林水産業創出額全体では2,102億円(対前年△92億円、△4.2%)となっており、農林水産業の成長産業化に向けた施策を迅速に進める必要がある。

このため、農業では、農業総合戦略会議でとりまとめた「行動宣言」に基づき、生産者、農業団体、市町村による一体となった取り組みをしっかりと後押しするため、短期集中県域支援品目(ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツ)の生産拡大、担い手育成から営農指導、流通・販売強化、農協改革まで総合的な対策を講じる。林業では、充実する人工林の主伐・再造林の徹底や、大径材の利用促進、早生樹造林の推進により、循環型林業の確立を図る。水産業では、漁船漁業の資源管理と種苗放流の一体的な取り組みや、養殖業の生産・流通体制の強化などに取り組む。また、コロナ禍により地方への関心が高まっている状況を捉え、担い手確保の取り組みを強化するなど、農林水産業の成長産業化に向けて、大分県版地方創生に欠かせない重要な産業である農林水産業を再生し、魅力ある、もうかる産業へと成長させていく。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—